

委 託 設 計 書						
施 行 年 度	令和 2 年度		契 約 番 号		伊賀市	
			2020001212			
業 務 名	大戸川小田排水機場 基本構想検討業務委託				設 計 番 号	
					02-39-0009-3-008	
履 行 場 所	伊賀市 小田町 地 内				設計・積算年月日	
					平成 年 月 日	
業 務 区 分	設計				積算者	検算者
設 計 金 額	円 内消費税相当額 円					
工 期	令和3年3月19日まで	延 長	m	幅 員	m	
業 務 の 大 要					起 工 理 由	
基本構想検討業務 計画準備 N=1式 資料収集整理 N=1式 内外水複合氾濫解析モデルの構築 N=1式 対策案の検討 N=1式 概算工事費算出 N=1式 関係機関協議 N=1式 報告書作成 N=1式 打ち合わせ N=1式					別 紙 の と お り	

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
設計・解析・調査業務								
01:設計・解析・調査								
河川構造物設計				式				
					1.000			
排水機場予備設計				式				第 0001 号 明細表
					1.000			
打合せ				式				
					1.000			
打合せ協議				式				第 0002 号 明細表
					1.000			
直接経費（積上げ分）				式				
					1.000			
直接経費				式				第 0003 号 明細表
					1.000			
旅費交通費				式				第 0004 号 明細表
					1.000			

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接原価				式				
					1.000			
その他原価				式				
					1.000			
業務原価				式				
					1.000			
一般管理費等				式				
					1.000			
設計・解析・調査業務価格				式				
					1.000			
消費税及び地方消費税相当額				式				
					1.000			
業務委託料				式				
					1.000			

[設計・解析・調査]

第 0001 号 明細表 排水機場予備設計					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
計画準備	式				第0001号単価表
基本構想		1.000			
資料収集整理	式				第0002号単価表
基本構想		1.000			
内外水複合氾濫解析モデルの構築	式				第0003号単価表
基本構想		1.000			
対策案の検討	式				第0004号単価表
基本構想		1.000			
概算工事費算出	式				第0005号単価表
基本構想		1.000			
関係機関協議	式				第0006号単価表
基本構想		1.000			
報告書作成	式				第0007号単価表
基本構想		1.000			
合 計					

[設計・解析・調査]

第 0002 号 明細表 打合せ協議					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
打合せ協議 初回・中間・最終	式				第0008号単価表
		1.000			
合 計					

第 0003 号 明細表 直接経費					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
報告書製本代 A-4以下 500枚	部				
		2.000			
簡易加除式ファイル	冊				
		2.000			
CD-R	枚				
		2.000			
合 計					

[設計・解析・調査]

第 0004 号 明細表 旅費交通費					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
旅費交通費（打ち合わせ）	回				
旅費交通費（現地調査）	回				
合 計					

SJ0010	計画準備 基本構想	第 0001 号単価表 1 式					当り
名 称		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
主任技師		人					
技師 (A)		人					
技師 (B)		人					
技師 (C)		人					
技術員		人					
合 計		式	1. 000				
単位当り		式	1. 000	当り			

SJ0020 資料收集整理 基本構想		第 0002 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0030 内外水複合氾濫解析モデルの構築 基本構想		第 0003 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0040 対策案の検討 基本構想		第 0004 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0050 概算工事費算出 基本構想		第 0005 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0060 関係機関協議 基本構想		第 0006 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0070 報告書作成 基本構想		第 0007 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0110 打合せ協議 初回・中間・最終		第 0008 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
打合せ 業務着手時	式	1. 000			第0009号単価表
打合せ 中間打合せ	式	1. 000			第0010号単価表
打合せ 成果物納入時	式	1. 000			第0011号単価表
合 計	式	1. 000			
単位当り	式	1. 000	当り		

SJ0080 打合せ 業務着手時		第 0009 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0090 打合せ 中間打合せ		第 0010 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0100 打合せ 成果物納入時		第 0011 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

<基本構想検討業務 内訳表>

基本構想検討業務				
項 目	詳細	数量	単位	備 考
基本構想検討業務				
計画準備		1	式	
資料収集整理		1	式	
内外水複合氾濫解析モデルの構築		1	式	
対策案の検討		1	式	
概算工事費算出		1	式	
関係機関協議		1	式	
報告書作成		1	式	
打合せ		1	式	

＜大戸川小田排水機場 施設改修に関して＞

名称：小田排水機場

現状：昭和 50 年に当時遊水地として利用していた農地への工場誘致に伴い、湛水対策として暫定的に設置されましたが、40 年以上が経過し、小田流域の宅地化の進行による湛水面積の減少および、機器の老朽化による能力低下が課題となっております。

計画：既設ポンプ $\phi 600$ 及び操作機、関連する施設 1 式の更新

位置：伊賀市 小田町 地内

性能：重油機関ギヤー掛けポンプ（縦軸斜流 $\phi 600 \times 145\text{PS}$ ） $\times 1$ 基 $42\text{m}^3/\text{min}$

重油機関（ディーゼル） 145PS 6 気筒 $\times 1$ 台

同上歯車減速機 $\times 1$ 台

4 馬力エンジン及びモーター付きコンプレッサー $\times 1$ 台

5 t 天井走行クレーン $\times 1$ 基

巻き上げ機、エンジン駆動、スピンドル形式 1 台

修繕履歴：平成 25 年度 既設ポンプのオーバーホール

平成 28 年度 排水ポンプ $\phi 250$ ($8\text{m}^3/\text{min}$) $\times 6$ 台設置（バックアップ用）

＜特記仕様書＞

1. 計画準備

- ・受注者は、業務の目的・主旨を理解したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し、監督員に提出する。

2. 資料収集整理

- ・受注者は、既往の内水状況の把握、内水の確立規模検討等のために必要とされる雨量、水位、流量資料を収集・整理するものとする。また近接する河川のこれまでの治水事業の実施経過、河川管理者の考え方を整理する。その他必要となる地形条件（流域界、河床勾配等）を把握し内水の想定湛水区域設定に必要な資料収集を行う。

3. 内外水複合氾濫解析モデルの構築

- ・受注者は対象区域における内水特性の把握を行い、内水処理方式について効果が見込め、かつ費用等についても実現性のある処理方式を提案するものとする。
- ・受注者は過去の降雨実績、外水位および湛水状況（過去の経緯含め）を考慮して、検討対象内水を複数提案するものとする。
- ・受注者は対象内水河川流域における過去の内水状況の再現、および将来の内水現象の予測をするための内水解析モデルを検討するものとする。

4. 対策案の検討

- ・内水モデルの構築により、区域内の各施設に応じて許容湛水位の設定、経済効果、周囲の計画規模とのバランス等考慮の上、最適な処理計画を提案するものとする。
- ・現状施設の利活用を含めて複数案の対策工法を提示するものとする。
- ・対策案の検討に際しては、維持管理・運用における観点も加味すること。

5. 概算工事費算出

- ・提示された複数の対策案に基づき、それぞれの概算工事費を算出する。
- ・算出にあたっては、標準的な土質・条件に基づいた想定に基づいた一般的な費用を算出するものとする。詳細については監督員協議の上算出するものとする。

6. 関係機関協議

- ・主な関係機関は国土交通省 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所となる。

7. 報告書作成

- ・ 報告書 2 部（紙面）、及び電子記録媒体（CD 等）にて提出。

8. その他留意点

- ・ 現状把握（排水機場の流域確認、現状の土地利用状況把握）を行う。
- ・ 現状規格の排水ポンプの排水量の妥当性確認
- ・ 排水放流先の河川管理者の見解「小田遊水地内への放流量は現状の見直し値にて変更増でも了承」
- ・ 放流先：大戸川⇒小田遊水地⇒木津川
- ・ 現状ポンプ規格：42m³/min 1 基 （その他概要書参照）
- ・ 整備手法の検討を行い、複数案を提示の事。その後、個別の概算事業費を算出し、後年度の事業計画手法決定の資料とする。
（例：複数案（3 案程度）、 ①案：既存施設撤去・新設排水機場設置、②案：現状上屋等利用できる施設は残し、内部機器の更新を実施、 ③案：小口径ポンプの複数設置による安価な整備計画 等）
- ・ その他不明な点は、三重県業務委託共通仕様書に準じる。

以上

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.1

明示項目	明示事項（条件及び内容）
ア 適用図書	☒ 設計業務等委託契約書 ☒ 設計業務等共通仕様書（三重県）【平成27年11月制定】 部分改正を行った内容も含む（最新改正 年 月） ☐ 三重県公共工事共通仕様書（三重県）【平成28年 7 月制定】 部分改正を行った内容も含む（最新改正 年 月） ☐ その他（ ）
イ 業務計画等	☒ 契約締結後 10 日以内に業務計画書（工程表）を監督員に提出する。 ☒ 業務完了の10日前までに数量報告書（工種、設計数量、実施数量等を記載）を監督員に提出する。 ☐ 業務日報は、監督員が提出を要求したときすみやかに提出する。 ☐ その他（ ）
ウ 成果の提出	☒ 電子記憶媒体で提出すること。 ☒ 本業務における成果物の提出部数は、（ ☐ 3 部 ☒ （ 2 ）部）とする。 ☐ 指示する期日までに提出する成果物あり。（ ） ☐ 検査用として成果物の印刷物（A 4 版簡易ファイル、年度・委託名・完成年月・受発注者名を明示、図面は袋とじ）を 1 部提出する。 ☐ その他（ ）
エ 工程関係	☐ 別途業務との工程調整の必要あり （別途業務名： ） ☐ 関係機関との協議の必要あり（別途資料作成必要あり） ☐ その他（ ）
オ 管理技術者の要件	管理技術者は、（ ☐ 下記の者 ☒ 下記のいずれかの者）とする。 ☒ 技術士 （ ☒ 河川、砂防及び海岸・海洋部門 ☐ 部門、 ☐ 部門・科目を問わない） ☐ 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者） ☐ R C C M の資格保持者 （ ☐ 部門、 ☐ 部門を問わない） ☐ 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者
管理技術者のその他要件	☒ 配置予定技術者届出書に記載した技術者を契約時に配置しなければならない。 ☐ その他（ ）

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
令和2年5月

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.2

明示項目		明示事項（条件及び内容）
カ	照査技術者	☒ 概略・予備・詳細設計等については、照査技術者を定めなければならない。 ☐ 次の業務には、照査技術者を定めなければならない。 （ ）
	照査技術者の要件	照査技術者は、（ ☐ 下記の者 ☒ 下記のいずれかの者 ）とする。 ☒ 技術士 （ ☒ 河川、砂防及び海岸・海洋部門 ☐ 部門、 ☐ 部門・科目を問わない ） ☒ 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者） ☒ R C C Mの資格保持者 （ ☒ 河川、砂防及び海岸・海洋部門 ☐ 部門を問わない ） ☐ 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者 ☐ その他（ ）
	照査の実施	☒ 照査は下記も含めて実施し、これに基づいて作成した資料は照査報告書に含めて提出しなければならない。 ☒ 詳細設計照査要領（国土交通省大臣官房技術調査課監修（平成29年3月版）） ☐ その他（ ）
キ	打合せ等	☒ 設計業務等着手時及び成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む）及び設計図書で定める業務の区切りにおける打合せには、管理技術者が出席するものとする。 ☒ 中間打合せ回数は 3 回とする。 ☐ 中間打合せについては、管理技術者が出席するものとする。 ☒ 照査技術者については（ ☐ 設計業務着手時 ☐ 中間打合せ 回 ☒ 成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む） ）の打合せに出席するものとする。
ク	資料の貸与	☐ 発注者の貸与する資料は、次のとおりとする。 （ ）

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
令和2年5月

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.3

明示項目	明示事項（条件及び内容）
ケ 業務条件	☒ 業務条件は下記のとおりとする。 当仕様書及び別添特記仕様書参照
コ その他	☒ 成果物の中で他の文献、資料等を引用した場合出典名を報告書に明記すること。
	☒ 設計に採用する材料等について、「三重県リサイクル製品利用推進条例」に基づく認定リサイクル製品に該当する材料等がある場合は、採用を検討すること。 検討した結果、該当する材料等については、監督員と協議のうえ、成果物（設計図面、数量計算書等）の使用材料を表示する欄に「認定リサイクル製品」と記載すること。
	☒ 暴力団員等による不当介入（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第11号）を受けた場合の措置について (1) 受注者は暴力団員等（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第9号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
令和2年5月